

【Q13】 Deed Poll と題する契約書はどのような契約書なのでしょう。一般の Deed との違いはあるのでしょうか。

【A13】 Deed Poll は「平型捺印証書」と訳され捺印証書(契約)の一種です。deed は, formal contract や sealed contract ということもあるように, 捺印のある証書のかたちで作られる正式な契約です。

捺印証書には, indenture と deed poll の 2 種類があります。前者は歯型捺印証書と訳され, deed indented が元のことばですが, indent の「歯型をつける」という意味からきています。なぜ歯型がつくのかを説明しておきましょう。

その昔, 複数当事者間における双務契約的内容の契約書は大きな羊皮などに同一文言を書いて間をギザギザに切り分けるか, あるいは当事者の数と同数の証書を作成してそれらを重ねて端を歯型・波型に切断する whichever の方法で証書を作成しました。のちに切断面を合わせることによって証書の真正を証明しようとしたのです。

現在ではこのようなことをしなくなりましたが, とくに紙の上端を重ねて切ったときは, 鮫の歯のように見えます。そこでこれを歯型捺印証書とよぶようになったといえます。昔の文書管理術の一つといってもよいでしょう。

もう一方の平型捺印証書は, 片務契約的な場合に使われました。当事者が複数いれば, それぞれが同じ内容の証書を持ち合うためにギザギザをつけて切り分け, あとで切断面を照合し真正さを確認する必要がありますが, 一方的に差し入れるような契約書の場合はそうした必要はありません。そこで, 平型をつけない, つまり上部が平らな契約書という意味の平型捺印証書をつくるわけです。

以上は昔ながらのやり方ですが, イギリスでは 1925 年, Law of Property Act が複数の証書を歯型に切断することも indenture の表示をすることも必要ない旨規定しました。以後, indenture と deed poll を区別しなくてもよくなったのですが, 現在でも用語としてはともにのこっています。

ところで, poll を英和辞書で引くと面白いことがわかります。名詞で「投票」, 「世論調査」といった意味のほか「角なし種の牛」といった意味があり, 動詞では, 「家畜の角を取る」, 「頭髪, 羊毛などを刈る」とあって, 最後のほうに「〈証書など〉の切り取り線を平らに切る」が出てきます。これから, poll はもともと動物の頭が平らで角もない状態のことをいい, そこから歯型のつけられていない契約証書を deed poll というようになったことがわかります。

deed poll も捺印証書である以上, (1)署名, (2)捺印, および(3)交付という 3 つの要件を満たさなくてはなりません。ただ, いずれの要件についても“緩和”の傾向がみられます。イギリスでは署名か記号が必ずなくてはならず捺印だけでは足りないとする一方で (Law of Property Act, 1925, s. 73), アメリカは署名または捺印を要求しない傾向がみられます。リステイトメント (Second, § 95 Comment C) は, 署名を捺印証書の要件としては

いませんし、一般に頭文字を手書きしても、タイプもしくは印刷された氏名でも、署名の意思でなされた印でもよいとします。

同様にリステイトメント 96 条は、署名も捺印の一種としており、伝統的な捺印を要求しません。交付については、逆にイギリスのほうが簡略化します。同国では、現実に相手方に対して書面を移転しなくてもよいとしますが、アメリカでは相手方がなんらかの方法によって捺印証書を占有ないしは支配することを要求します。

(弁護士 長谷川俊明)